

■木島平で農業してみませんか

村では関東在住者向けに市民農園を開園しています。市民農園とは、農業にチャレンジしたい方や観光に併せて農業体験してみたい方が、週末など来村できる機会を利用して、畑や水田を借りて、農作物を栽培することができるといいます。普段の世話は委託された農家が行います。また、作業する際は、農具の貸し出しも行っており、手ぶらで来ていただけます。事前予約により、農家から専門的な指導を受けることもできます。

令和3年度の募集は3月5日から始まる予定です。募集の詳細は村公式WEBサイトにて2月下旬ごろ掲載予定です。ご確認ください。現状の募集案は左記のとおりですので参考にしてください。

場所…木島平村観光交流センター隣
利用料金…畑 5千円/年 水田 2万円/年

お問い合わせ…産業課商工観光係



稲刈りの様子



畑の様子

■木島平スキー場盛況

新型コロナウイルスの影響で入込が心配されていた『木島平スキー場』ですが、12月初旬からの降雪やリフト券半額キャンペーン、CM等のプロモーションに力を入れたこと、屋外でのスポーツということもあり、休日は駐車場が満車になるほど、賑わっています。しかしながら、県内からの日帰りのお客さんが多く、依然として、宿泊事業者は、苦戦を強いられています。緊急事態宣言下では、帰村しづらい状況ではありますが、感染対策実施のうえ、会員の皆様には引き続きお力添えをお願いします。

■木島平村観光(株)商品券 使用期限延長

会費を納入いただいた会員の皆様にお配りしている、木島平村観光(株)グループで使用できる商品券ですが、使用期限が令和3年2月末となっておりますが、新型コロナウイルスの影響で帰省できず、商品券の使用ができない会員の方も多くいらっしゃいます。そのため、木島平村観光(株)と協議を行い、左記のとおり、使用期限を延長していただけることになりました。

使用期限…令和3年2月28日

変更後… **令和4年2月28日**



私の住んでいる八王子の街を紹介します

岡田庸利（和栗出身）

木島平村の皆様、ふるさと応援団の皆様こんにちは！
新型コロナウイルスの猛威で、東京から脱出できません。巣ごもりしています。

私は昭和41年に八王子市に引越してきました。

八王子市は、東京都の西部にあり、人口約55万人で、東京都の市町村の中で一番大きい市です。大学が沢山あり、学園都市と言われています。

新宿にはJR中央線、私鉄の京王線で約40分、横浜にはJR横浜線で約1時間、高崎にはJR八高線で約2時間半です。松本にはJR中央線特急で約2時間半です。飯山駅には、東京駅から、新幹線で約2時間です。

八王子の名称の由来は、その昔疫病や農作物を守る神とされる牛頭天皇と8人の王子を祀る信仰が広がる中で、八王子神社や、八王子権現社が作られ八王子という名前になったと言われています。八王子は、戦国時代は城下町、江戸時代は宿場町でした。明治維新後は、生糸貿易の中継地として、横浜の港に生糸を運んでいました。国道16号線は、「絹の道」と言われています。

八王子市は大正6年に市制が施行されました。豊かな自然に恵まれ、農産物、畜産物も豊かです。残念なことに、昭和20年8月2日に大空襲に襲われ、壊滅しました。

八王子の名所としては、高尾山、多摩御陵（大正天皇墓）・武蔵野陵（昭和天皇墓）、ゆうやけ小やけふれあいの里、多摩森林科学園、滝山自然公園、八王子城跡、片倉城跡、今熊山、駒木野庭園、小宮公園など自然豊かな所です。

有名な童謡「ゆうやけ小やけで日がくれて・・・」は八王子出身の中村雨紅の作詞で、JR八王子駅の発車のメロディーになっています。この歌詞の碑は「ゆうやけ小やけふれあいの里」にあります。

八王子は絹織物の街として有名で、昔は蚕を沢山飼っていました。桑の木がたくさんあり、街の別名は、桑都（そうと）です。

八王子には昔からの花街があります。織物の街、着物の街として栄え、昭和25年（1950年）には芸妓さんが130人もいました。

現在も多摩地区唯一の「花街」で芸妓さんが10人ほどいます。踊りなどの芸の道に励み、美しい姿を披露し、地域の皆さんに愛されています。

木島平村の皆さん、是非八王子市に遊びにきてください。



この写真は樫出版社の「八王子本」から引用しました

会報原稿募集中!

【毎月5日までに左記へご送付ください。】

【送付先】〒389 2392 木島平村役場内 ふるさと応援団事務局

FAX 0269 824121

✉ seisaku@vil.kijimadaira.lg.jp